



発行者：すずらん保育所
発行日：令和6年10月31日
担当者：看護師 桑原

尿検査のお知らせ

実施日：11月13日(水)
11月14日(木)

目的：腎臓疾患と糖尿病を早期に発見する

注意：尿をとる前日はジュース類を控え、
朝起きて1番尿を採りましょう

※尿パックを使用する場合は、お子さんが起きてすぐに装着するか、起床直前の寝ているときに装着すると良いです。

後日、検査の結果をお知らせします。陽性の場合、もう一度採尿し、より精密な検査を行います。

*予備日：20日(水)

知っていますか？

新しい「インフルインザ予防接種」

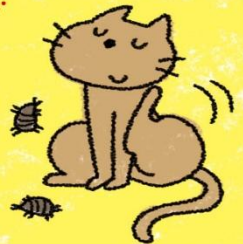
昨年度、「フルミス」というインフルザワクチンが承認されました。このワクチンは、左右の鼻の中に吹きつけるスプレータイプのインフルエンザワクチンです。国内では、2才~18才までの子どもを対象に承認されました。

インフルエンザは主に呼吸器を介して感染するので、直接鼻粘膜に弱毒化したウィルスを噴霧する方法は有効だと言われています。効果は、従来の注射と変わらず、しかも1回で済むので、スケジュール管理がしやすい事と、痛みを伴わないので好評です。子どもの健康状態をよく知っているかかりつけ医と相談して選ぶのも良いと思います。



気管支ぜんそくについて

ハウスダスト、ダニ、ペットの毛などのアレルギー反応によって起こる気管支ぜんそく。呼吸が苦しくなり、たんが絡んだせきが出ます。



発作は軽度のものから呼吸困難を起こす重症のものまで多様。幼児期に発症することが多く、発作を繰り返すうちに気道が過敏になり、少しの刺激で発作が起きやすくなります。季節の変わり目は、体調を崩しやすくなるので注意してあげたいですね。

せきの対応

- 前かがみに座らせる
- 少しずつ水分を補給する
- 室内を清潔に保つ（ダニやハウスダストが原因の場合）

⚠ 呼吸困難を起こしたらすぐに病院へ



インフルエンザと かぜの違い

インフルエンザ		かぜ
インフルエンザウイルス	原因	細菌、ウイルス
冬から春に多い	時期	一年を通して
全身症状	病気の始まり	鼻水、くしゃみ
39～40℃	熱	37～38℃くらい
大流行すること	伝染	多くの人にうつらない
手足や腰に強く出る	関節痛	ほとんどない
肺炎、気管支炎、インフルエンザ脳症 など	合併症	安静を守ればひどくならない



インフルエンザは、発症し5日を過ぎて、かつ、熱が下がってから3日を過ぎるまでは、園はお休みします